



## JR連合青・女委員会

# 第21回ユースラリー

## in きんきら☆きんき



テーマ

# 環(わ) ~やっぱ仲間ってええやん~

平成28年5月14日～16日の3日間、JR連合青年・女性委員会主催「第21回ユースラリー in きんきら☆きんき」が京阪神地区にて開催されました。JR連合に加盟する全国各地の単組、地協、エリア連合などから97名が集結しました。4月に発生した平成28年熊本地震の影響もあり開催中止も考えられましたが、全国の仲間が集うことの大切さや重要性を再確認し開催することとなりました。

JR四国労組からも9名が参加し、レクリエーションやウォークラリーを通じて全国の仲間達と「横のつながり」を深めると共に、安全学習会をとおして「安全」についての大切さを再確認しました。

## 1日目： チームビルディング・カレー作り

Let's Go  
ユースラリー



1日目は京都駅に集合し、自己紹介で盛り上がりながら滋賀県にある『希望ヶ丘文化公園』へ向かいました。大自然に囲まれた中で開会式を行ない、チームに分かれてのチームビルディングで緊張をほぐしていきました。

緊張気味だった参加者も徐々に打ち解け、夜ご飯ではドラフト形式で食材を奪い合い、チームそれぞれのオリジナルカレー作りに挑戦しました。チームで協力して作ったオリジナルカレーはとてもおいしく、和気あいあいとした雰囲気で大自然の夜を楽しみました。近代的な物の無い中でもチーム内の絆が深くなりました。

また、翌日のウォークラリーに向けて、夜遅くまで作戦会議が続きました。



## 2日目：ウォークラリー(京阪神地区をチームで散策!)



# 京阪神地区を散策 & 満喫!

2日目のイベントは、チームに分かれ京都・大阪・宝塚の3エリアの14ポイントを自由に散策するウォークラリーです。京都駅をスタートに新大阪駅をゴールとして、全チーム元気よく出発していきました。天気にも恵まれ、電車やバスを使い、各地のチェックポイントを巡り、写真を撮影してポイントを争いました。エリアに関するクイズに悪戦苦闘し、チーム全員での大縄跳びにも挑戦しました。おいしい物もたくさん食べ、京阪神を思う存分楽しむことができました。綿密な計画を立て優勝を目指すチームやのんびり観光するチームなど、それぞれの楽しみ方でチームの絆を深め、単組の枠を越えた交流ができました。



息を合わせて大縄跳びに挑戦中

## 2日目：交流会 & ウォークラリー結果発表

夜には、JR連合松岡会長、近畿地協本田事務局長、滋賀県三日月知事の激励を受け、交流会スタート！お楽しみの結果発表やウォークラリーでの各チームの写真がスライドで流されると歓声や笑い声に会場は包まれました。2日間の活動でグループの結束力も強まり、参加者全員と交流し、最後の夜を多に楽しみました。



## 3日目：安全学習会

JR連合青年・女性委員会の岡本議長より「安全」について提議を受け、JR連合の上村総合組織・政策局長による講義を受けました。福知山線列車事故発生当時の状況を経験者の声を聞くことができたほか、事故をとおしての労働組合の役割や重要性について考える貴重な時間となりました。「仕事に責任と誇りを持つ」「夢を語る」「一企業一組合の実現」など一人ひとりにできることは何かを学ぶことができました。

学習会後に松下幹事から4月に発生した熊本地震の概況と現在の様子をお話いただき、参加者全員で九州の仲間への応援メッセージを送ることを決めました。また、さらなる民主化を進めるために同じ鉄道やバスで働く全国の仲間へ向けて、共闘する上でのメッセージを考えてポスターを作成しました。

労働組合を取り巻く情勢や課題について全員で考えて情報を共有し、それを次に伝えていくことの難しさと重要性を再確認できました。今回の経験を自分一人のものとし、単組や所属分会のみんなに『伝える』ことができるような活動を活発にしていかなければならないと感じました。

